

第6学年*組 国語科学習指導案

指導者 坂上 有紀

1 単元 自分の意見を伝えるスピーチをしよう「伝え合おう、わたしの意見」

2 目標

- 自分が伝えたいと思う話題を、友達にも知ってもらいたいという意欲をもってスピーチしたり、話し手の考えや意図を聞こうとしたりしている。
- 自分の考えや意図が伝わるように、事実と感想・意見との区別や、資料の提示の仕方を工夫して話すことができる。また、話し手の考えや意図をとらえながら聞くことができる。
- 伝えたい話題の事実と感想・意見とを区別し、スピーチメモを書くことができる。
- 自分の考えを明確に表現するために、段落の組立て方を工夫することができる。

3 単元について

(1) 教材観

本教材は、学習指導要領の「話すこと・聞くこと」ア「考えたことや自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的に応じた適切な言葉遣いで話すこと」イ「話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと」ウ「自分の立場や意図をはっきりとさせながら、計画的に話し合うこと」をねらいとして構成されている。本教材におけるア「考えたことや自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら」とは、伝えたい内容と自分の考えがはっきり伝わるように、事実と感想・意見を区別して話したり、資料を効果的に活用して話したりすることととらえる。

(2) 児童の実態 (在籍人数：27名)

(調査実施日：*月*日 対象：*名)

1	国語の時間に自分の考えを伝えたい、知ってもらいたいという気持ちで話していますか。 話している*人 どちらかといえば話している*人 どちらかといえば話していない*人 話していない*人
2	自分の伝えたいことが相手によく伝わるように、工夫をしながら話していますか。 はい*人 いいえ*人
3	「はい」と答えた人は、あてはまる工夫に丸を付けて下さい。(複数回答) 話す速さ*人 声の大きさ*人 言葉遣い*人 目線*人 間の取り方*人 話の順序*人 理由や例を挙げて話す*人 資料を見せて話す*人 抑揚*人 その他(身振り手振り)(自由記述)
4	話し手の伝えたいことを考えながら、話の内容を聞いていますか。 はい*人 いいえ*人
5	「はい」と答えた人は、どのようなことに注意しながら話を聞いていますか。あてはまる内容に丸を付けて下さい。(複数回答) 伝えたいことは何か*人 どのような考えをもっているのか*人 自分の考えとの共通点や相違点は何か*人 話し手の考えに対して自分はどのように考えるのか*人 話の内容がよく伝わるような言葉遣いか*人 話の組立てをどのように工夫しているのか*人

アンケート1の結果から、児童全員が、自分の考えを伝えたい、知ってもらいたいという気持ちをもちながら話していることが分かる。そして2・3の結果からは、相手によく伝わるような工夫をしているものの、技能的な面での工夫が多く、内容的な面での工夫を答えた児童は少ない。また、4・5の結果からは、話し手の意図や自分に伝えたいことは何かをとらえながら聞こうという意識はあるものの、話し手の考えに対して自分の考えをもったり、自分の意見と比べたりすることや、話し手が話の組立てをどのように工夫しているのかについて注意して話を聞くことは、あまり意識されていないことが分かる。これらのことから、話し手の意図や考え、思いを聞き手に伝える際に、相手の理解が深められるような、話の組立てを工夫して話すことができるとともに、適切で効果的な話の組立てに注意し、自分の考えをもちながら、話の内容を聞き取ることができる指導の改善を試みる必要があると考える。

(3) 指導観

本単元は、第5学年で学習した「理由や例を挙げて、話の組立てを工夫して話すこと」「相手の考えをとらえて聞くこと」を受けて、「スピーチという形で事実と感想・意見を区別して話したり、資料の提示の仕方を工夫して話したりすること」「話し手の考えや意図をとらえながら聞くこと」の基本を身に付ける単元として位置付けている。本単元では、新学習指導要領国語科、第5学年及び第6学年(2)内容②言語活動例アを加味し、資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりする言語活動を通して指導を行っていく。話したいことを選ぶ際には、様々なメディアを活用し、児童が知らせたい、考えてほしいという思いや願いの強いものをスピーチの話題として選べるようにし、伝える意欲を高めたい。そして、スピーチメモの作成においては、教科書の例をもとにして、順序を考えてメモが書けるようにしていく。また、資料の作成の際には、話す内容と資料との整合、適切な時間や機会での資料の提示についてとらえさせ、適切に活用させたい。さらに、スピーチの練習はグループで行い、互いにスピーチを聞いて①話し方②事実と感想・意見の区別③資料の効果④資料の提示の仕方を相互評価し、聞き手から助言や提案をもらう話し合いを設定する。その際には、話し手の意見や感想に対する自分の感想も併せて話し合えるようにしたい。これらを生かして、話し方や考えを見直しながら、スピーチ発表会へとつなげていく。スピーチ発表会では、話し手のスピーチ内容に対する聞き手の考えを個々に表現することができるよう、考えを感想カードに記入させ、互いに読み合ったり、話し合ったりする活動を意図的に取り入れることで、考えを深めさせたい。

4 単元の指導計画(6時間扱い)

次	時	学 習 内 容	関	話聞	書	言
1	1	教材文を通読し、学習の見通しを立てる。新聞記事やニュースから、自分が最も伝えたい話題の一つを選ぶ。	○			
2	2	スピーチメモの書き方を理解し、事実と感想・意見とに分けて、スピーチメモを書く。			○	○
3	3	スピーチに必要な資料の作成の仕方や提示について理解し、作成する。各自で発表の練習を行う。	○	○		
	④	グループで相互評価しながら、発表の練習を行う。	○	○		
4	5 6	スピーチ発表会を開き、感想を交流する。	○	○		

5 本時の学習

(1) 目標

○ 自分の考えや意図が伝わるように、事実と感想・意見との区別や、資料の提示の仕方を工夫して話すことができる。また、話し手の考えや意図をとらえながら聞くことができる。

(2) 学校教育基本方針の努力事項との関連

「基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等をはぐくむ授業展開の工夫」という努力事項に対して、以下の取組を行う。

・ 言語活動の充実を図るため、児童が共に意見を出し合い、自分の考えを表現し合える話し合いの場を設定する。

(3) 本校の学校教育目標との関連

「自ら学び自ら考える」という学習面での学校教育目標に対して、以下のような学習指導の具体的な工夫を行う。

・ 相互評価の内容について、グループ全員で話し合う場を意図的に取り入れることにより、児童が自分の考えを表現しながら、学習活動に積極的に参加できるようにする。

(4) 準備・資料

・ 課題文 ・ プレゼン用機器 ・ 司会用マニュアル ・ 評価用チェックカード

(5) 展開

学習活動・内容	教師の支援・評価								
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <p>スピーチ発表会の練習をグループで行い、自分のスピーチを見直そう。</p> <p>・グループ練習の流れについて確認する。</p> <p>(1) 話し手は、①話し方②事実と感想・意見の区別③資料の効果④資料の提示の仕方に注意しながら、スピーチをする。スピーチ終了後、自分のスピーチについて自己評価する。</p> <p>(2) 聞き手は、話し手の考えや意図をとらえながら聞き、スピーチ終了後、①話し方②事実と感想・意見の区別③資料の効果④資料の提示の仕方について、評価用チェックカードを使って相互評価するとともに、話し手の感想や意見に対して自分の感想をもつ。</p> <p>(3) 話し手のスピーチについて、チェックカードをもとに話し合う。</p> <p>・①②③④について</p> <p>・話し手の感想・意見についての感想</p> <p>(4) グループ全員の練習が終了したら、チェックカードや話し合い、友達のスピーチのよい点を生かしながら、自分のスピーチの内容面・技能面、資料の活用について見直す。</p>	<p>・ 話す際には、自分の考えや意図が伝わるように、①話し方②事実と感想・意見の区別③資料の効果④資料の提示の仕方に注意しながら、スピーチをすることを確認する。また聞く際には、話し手の考えや意図をとらえながら聞き、自分の感想をもつことや、聞く技能を確認する。</p> <p>・ 学び合いの効果が高められるよう、グループ編成については、上位児と下位児ができるだけ均等に分けられるよう配慮する。</p> <p>・ グループ練習の流れが把握しやすいよう、プレゼンテーションソフトを活用して、説明を行う。</p> <p>・ 評価の仕方や記入の仕方について、プレゼンテーションソフトを活用して、説明する。</p> <p>・ 相互評価する際には、よさを認めた上で、助言や提案をすることを確認する。</p> <p>・ 感想を話す際には、相手の考えを尊重し、自分の感想を述べるよう助言する。</p> <p>・ 自分のスピーチを見直す際、聞き手の感想を、自分の感想や意見に生かしてもよいことを確認する。また、友達のスピーチのよい点を、自分のスピーチに取り入れるとよいことも確認する。</p>								
<p>2 グループ練習を行う。</p> <p>◎ 司会は、輪番で行う</p> <table border="1" data-bbox="231 1377 758 1848"> <thead> <tr> <th data-bbox="231 1377 454 1422">話し手 (a児)</th> <th data-bbox="454 1377 758 1422">聞き手 (b・c・d児)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="231 1422 454 1534">① (話す) 話の組立てを工夫しながら、スピーチをする。</td> <td data-bbox="454 1422 758 1534">① (聞く) 話し手の考えや意図をとらえながら、4つの点に注意して聞く。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1534 454 1691">② (自分の考えを書く) 自分のスピーチについて、チェックカードの自己評価欄に自己評価する。</td> <td data-bbox="454 1534 758 1691">話の組立ての工夫について、チェックカードを使って相互評価するとともに、話し手の感想や意見に対する自分の感想を書く。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1691 454 1848">③ (話し合う) 聞き手からの評価や助言・感想を聞きながら自分のスピーチを振り返る。</td> <td data-bbox="454 1691 758 1848">a児のスピーチについて、チェックカードをもとにb・c・d児がそれぞれ自分からの評価や感想を述べる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>●次に、話し手をb児→c児→d児と進める。</p>	話し手 (a児)	聞き手 (b・c・d児)	① (話す) 話の組立てを工夫しながら、スピーチをする。	① (聞く) 話し手の考えや意図をとらえながら、4つの点に注意して聞く。	② (自分の考えを書く) 自分のスピーチについて、チェックカードの自己評価欄に自己評価する。	話の組立ての工夫について、チェックカードを使って相互評価するとともに、話し手の感想や意見に対する自分の感想を書く。	③ (話し合う) 聞き手からの評価や助言・感想を聞きながら自分のスピーチを振り返る。	a児のスピーチについて、チェックカードをもとにb・c・d児がそれぞれ自分からの評価や感想を述べる。	<p>・ 一斉に練習を始めるので、なるべく練習の妨げにならないようなグループの配置について配慮する。</p> <p>◎ だれもが司会の役割を果たせるよう、進め方のマニュアルを用意しておく。</p> <p>◎ 感想をもつことが難しい児童には、話し手の考えのよかった点を話すよう助言する。</p> <p>◎ 話し合いの進度が速く、見直しまで終了した児童は、個人でスピーチの練習をし、グループ全員が終了したら、グループで練習を行い、相互評価を生かしながらスピーチできているかを確認し合うよう助言する。</p> <p>☆ 話し手：自分の考えや意図が伝わるように、事実と感想・意見との区別や、資料の提示の仕方を工夫して話すことができたか。</p> <p>聞き手：話し手の考えや意図をとらえながら聞くことができたか。</p> <p>(発表・チェックカード②)</p>
話し手 (a児)	聞き手 (b・c・d児)								
① (話す) 話の組立てを工夫しながら、スピーチをする。	① (聞く) 話し手の考えや意図をとらえながら、4つの点に注意して聞く。								
② (自分の考えを書く) 自分のスピーチについて、チェックカードの自己評価欄に自己評価する。	話の組立ての工夫について、チェックカードを使って相互評価するとともに、話し手の感想や意見に対する自分の感想を書く。								
③ (話し合う) 聞き手からの評価や助言・感想を聞きながら自分のスピーチを振り返る。	a児のスピーチについて、チェックカードをもとにb・c・d児がそれぞれ自分からの評価や感想を述べる。								
<p>④ チェックカードや話し合いをもとに、自分のスピーチについて見直す。</p> <p>3 本時の学習をふり返る。</p>	<p>◎ ④の活動まで終わった児童は、各自でスピーチ練習に取り組ませる。</p> <p>・ グループ練習について、よかったところや感想をチェックカードの自己評価欄に記入させ、次の学習に生かせるようにしていく。</p>								

◎個への対応 ☆評価の観点